2025 年 12 月 10 日

各 位

大和インベスター・リレーションズ株式会社

「大和インターネットIR表彰 2025」を発表

大和インベスター・リレーションズ株式会社（代表取締役社長：成瀬　順也、以下「大和IR」）は、上場企業のIRサイトを独自の基準で評価・採点し、特に優秀なIRサイトを構築し、情報開示ならびにコミュニケーション活動で有効に活用している 158 社を以下の通り、受賞企業として選定いたしました。

2025 年評価基準の策定においては、統合報告が進展する中、開示情報の深化や、昨今におけるIRサイトのトレンド等を考慮し、採点項目の見直しを行いました。

また本年も、部門賞として「サステナビリティ部門」において、日本語版・英語版IRサイトにおける総合評価点 70 点以上の企業の採点を行った結果、24 社を受賞企業として選定しております。

なお、2026 年 1 月 16 日（金）に表彰式を開催し、受賞企業には記念品を贈呈させていただきます。
受賞企業へは別途、ご案内申し上げます。また、それ以外の方でご興味のある方はお問い合わせください。

◆最優秀賞：8 社 （※証券コード順）

アルトナー （2163）
双日 （2768）
東急不動産ホールディングス （3289）
TIS （3626）
日本ペイントホールディングス （4612）
ミネベアミツミ （6479）
伊藤忠商事 （8001）
ソフトバンク （9434）

◆優秀賞：19 社 （※証券コード順）

INPEX （1605）
住友林業 （1911）
三越伊勢丹ホールディングス （3099）
日産化学 （4021）
三菱ガス化学 （4182）
荏原製作所 （6361）
JVCケンウッド （6632）
ジーエス・ユアサ コーポレーション （6674）
ウシオ電機 （6925）
かんぽ生命保険 （7181）
ゆうちょ銀行 （7182）
日産車体 （7222）
リンテック （7966）
三井物産 （8031）
加賀電子 （8154）
アコム （8572）
SOMPOホールディングス （8630）
MS&ADインシュアランスグループホールディングス （8725）
川崎汽船 （9107）



◆優良賞：131 社 （※証券コード順）



ニッスイ（1332）
大林組（1802）
日揮ホールディングス（1963）
ジェイ エイ シー リクルートメント（2124）
パーソルホールディングス（2181）
森永製菓（2201）
明治ホールディングス（2269）
サッポロホールディングス（2501）
キリンホールディングス（2503）
不二製油（2607）
東京エレクトロン デバイス（2760）
味の素（2802）
カゴメ（2811）
ニチレイ（2871）
日清食品ホールディングス（2897）
J. フロント リテイリング（3086）
東洋紡（3101）
TOKAIホールディングス（3167）
すかいらーくホールディングス（3197）
セブン＆アイ・ホールディングス（3382）
帝人（3401）
東レ（3402）
クラレ（3405）
インターネットイニシアティブ（3774）
レゾナック・ホールディングス（4004）
エア・ウォーター（4088）
三井化学（4183）
三菱ケミカルグループ（4188）
ダイセル（4202）
積水化学工業（4204）
森六（4249）
日本化薬（4272）
セプテーニ・ホールディングス（4293）
Sansan（4443）
住友ファーマ（4506）
日本新薬（4516）
中外製薬（4519）
第一三共（4568）
大塚ホールディングス（4578）
DIC（4631）
artience（4634）
オリエンタルランド（4661）
ダスキン（4665）
パーク24（4666）
クレスコ（4674）
ユー・エス・エス（4732）
電通総研（4812）
あすか製薬ホールディングス（4886）
サワイグループホールディングス（4887）
富士フイルムホールディングス（4901）
コニカミノルタ（4902）
資生堂（4911）
デクセリアルズ（4980）
出光興産（5019）
コスモエネルギーホールディングス（5021）
日本製鉄（5401）
JFEホールディングス（5411）
住友金属鉱山（5713）
古河機械金属（5715）
UACJ（5741）
古河電気工業（5801）
三和ホールディングス（5929）
LIXIL（5938）
アマダ（6113）
ナブテスコ（6268）
日立建機（6305）
栗田工業（6370）
ブラザー工業（6448）
マックス（6454）
セガサミーホールディングス（6460）
日本精工（6471）
NTN（6472）
富士電機（6504）
安川電機（6506）
ニデック（6594）
オムロン（6645）
NEC（6701）
OKI（6703）
セイコーエプソン（6724）
アンリツ（6754）
TDK（6762）
アルプスアルパイン（6770）
横河電機（6841）
アズビル（6845）
日本光電（6849）
アドバンテスト（6857）
エスペック（6859）
村田製作所（6981）
コプロ・ホールディングス（7059）
日本ライフライン（7575）
島津製作所（7701）
ニコン（7731）
オリンパス（7733）
SCREENホールディングス（7735）
タムロン（7740）
リコー（7752）
シチズン時計（7762）
ヤマハ（7951）
コクヨ（7984）
丸紅（8002）
高島（8007）
豊田通商（8015）
東京エレクトロン（8035）
住友商事（8053）
キヤノンマーケティングジャパン（8060）
稲畑産業（8098）

◆優良賞：131 社 （※証券コード順）

シナネンホールディングス（8132）
三菱UFJフィナンシャル・グループ（8306）
りそなホールディングス（8308）
三井住友トラストグループ（8309）
みずほフィナンシャルグループ（8411）
野村ホールディングス（8604）
第一生命ホールディングス（8750）
東京海上ホールディングス（8766）
T&Dホールディングス（8795）
東京建物（8804）
レオパレス21（8848）
トーセイ（8923）
東急（9005）
京浜急行電鉄（9006）
ヤマトホールディングス（9064）
SGホールディングス（9143）
NIPPON EXPRESSホールディングス（9147）
日本航空（9201）
スカパーJSATホールディングス（9412）
NTT（9432）
KDDI（9433）
アイネット（9600）
カプコン（9697）
ファーストリテイリング（9983）
ソフトバンクグループ（9984）

＊すべて株式会社表記を省略しております。
＊大和証券グループ本社は選考から除外しております。

◆サステナビリティ部門 最優秀賞：3 社 （※証券コード順）

三越伊勢丹ホールディングス（3099）
伊藤忠商事（8001）
ソフトバンク（9434）

◆サステナビリティ部門 優秀賞：21 社 （※証券コード順）

INPEX（1605）
アルトナー（2163）
東急不動産ホールディングス（3289）
日産化学（4021）
三菱ガス化学（4182）
三井化学（4183）
日本化薬（4272）
第一三共（4568）
日本ペイントホールディングス（4612）
コニカミノルタ（4902）
出光興産（5019）
ブラザー工業（6448）
ミネベアミツミ（6479）
JVCケンウッド（6632）
セイコーエプソン（6724）
ウシオ電機（6925）
ゆうちょ銀行（7182）
日産車体（7222）
三井物産（8031）
MS&ADインシュアランスグループホールディングス（8725）
川崎汽船（9107）

＊今回のサステナビリティ部門では「優良賞」を設けておりません。
＊すべて株式会社表記を省略しております。
＊株式会社大和証券グループ本社は選考から除外しております。

以 上

（ご参考）「大和インターネットIR表彰 2025」の概要

企業IRはインターネットに包摂されるという『5T＆C』*の考え方のもと、上場企業のホームページを調査・評価しています。
審査・選定にあたり、青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授の北川　哲雄氏にご監修いただいております。
＊Timely（適時性）、Transparent（透明性）、Traceable（追跡可能性）、Trustworthy（信頼性）、Total（包括性）＋Communication（双方向性）

◆審査過程　＜審査期間：2025 年 6 月 1 日～10 月 31 日＞

■ **一次審査：** 上場企業 4,122 社を対象に、インターネットIRにおいて基本となる下記項目を審査しました。

① 適時開示情報の掲載状況
② 社長メッセージ、または、経営戦略の掲載状況
③ 決算短信・有価証券報告書の掲載状況
④ 任意刊行物の掲載状況
⑤ プレゼンテーション資料の掲載状況
⑥ 証券コード
⑦ サステナビリティ方針
⑧ コーポレート・ガバナンスの掲載状況
⑨ 英文短信の掲載状況
⑩ お問い合わせ先の表示

■ **二次審査：** 一次審査を通過した 1,264 社の日本語版IRサイトについて、定量的評価基準である大和IRスコアボード（日本語版）に基づいて詳細に評価しました。

【大和IRスコアボード（日本語版）の大項目】

① トップページ	トップページがサイト内の情報へ投資家を適切にナビゲートできているか。
② コーポレートプロフィール	自社のビジネスモデル、強み、業界環境などを説明しているか。
③ 経営方針・計画	IRに対する基本的な考え方、方針、体制等ならびに事業計画や経営戦略が説明されているか。
④ サステナビリティ	法制度やトレンドを意識し、対話に必要なESG情報を提供できているか。
⑤ 株式・社債情報	株式情報、株主還元情報など投資に必要な情報を提供できているか。
⑥ 業績・財務データ	主要な財務情報の掲載や財務データなどを投資家の立場に立った内容及び方法で提供しているか。
⑦ IRライブラリー	IRに関連する資料が、十分な種類、量、アーカイブで提供されているか。
⑧ 統合報告書	統合報告書（PDF）に、必要な情報を提供できているか。
⑨ IRイベント	すべての投資家に公平な情報伝達を図るべく、IRイベントに関する情報を十分に掲載しているか。
⑩ サイト使用時の留意事項	投資家が利用するにあたって、IRサイトとしての必要な注意がなされているか。
⑪ コンタクト	投資家とのコミュニケーションを図るため、双方向性を意識したサイト運営がなされているか。
⑫ ユーザビリティ	ユーザビリティの向上が図られているか、スマートフォンへの対応ができているか。

■ **三次審査：** 二次審査の評価点が 70 点以上の 230 社の英語版IRサイトについて、日本語版と同様に開示すべき共通項目に下記の英語版独自評価項目を加え、詳細な評価を実施しました。この英語版の評価点と二次審査における日本語版の評価点を日本語版：英語版＝5：5 の比率で統合し、総合評価点を算定しました。

【英語版独自評価項目の主なポイント】

①英文のクオリティ　②日本語と英語の開示情報量の公平性　③日本語と英語の開示タイミングの公平性

なお、英文のクオリティに関する審査においては、ジー・アイアール・コーポレーション株式会社（東京都港区）にご協力いただいております。

■ **最終審査：** 三次審査通過企業（日英総合評価点 70 点以上）を優良賞とし、さらに、サステナビリティサイトおよび統合報告書について、「大和 IR スコアボード」に基づく定量評価を統合し、優秀企業および最優秀企業を選定しました。

◆受賞企業選定基準と選定方法

◎ 最終総合評価点が 90 点以上の企業を「最優秀賞」候補として選定。
◎ 最終総合評価点が 80 点以上の企業を「優秀賞」候補として選定。
◎ それ以外の企業を「優良賞」候補として選定。

上記評価点をベースに大和インターネットIR表彰選定委員会にて表彰企業を選定しております。

■ **サステナビリティ部門：** 今回は、三次審査通過企業 158 社を対象に採点を実施しました。

【サステナビリティ部門の大項目】

① トップページ	トップページがサイト内の情報へ投資家を適切にナビゲートできているか。
② 全体方針	サステナビリティに関する基本的な考え方、方針、体制等、ならびに重要課題が説明されているか。
③ 環境	気候変動等の環境に対する社会課題への考え方、方針、体制、定量的なデータ等が説明されているか。
④ 社会	各ステークホルダーに対する社会課題への考え方、方針、体制、定量的なデータ等が説明されているか。
⑤ ガバナンス	コーポレート・ガバナンスに対する要請への考え方、方針、体制、定量的なデータ等が説明されているか。
⑥ サポート	企業のサステナビリティに対するサポート情報として、各種資料やイニシアチブ等が説明されているか。

◆サステナビリティ部門の受賞企業選定基準と選定方法

◎ 総合評価点が 90 点以上の企業を「最優秀賞」候補として選定。
◎ 総合評価点が 80 点以上の企業を「優秀賞」候補として選定。

上記評価点をベースに大和インターネットIR表彰選定委員会にて表彰企業を選定しております。

○ 北川 哲雄氏 略歴

青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授

- ◆ 早稲田大学商学部卒業、同大学院修士を経て、中央大学大学院博士課程修了（経済学博士）。
- ◆ 1981 年以来、野村総合研究所、モルガン銀行（現 JPモルガンアセットマネジメント）等でリサーチャー、アナリスト、調査部長に従事した後、2005 年より青山学院大学教授、2019 年より現職。
- ◆ 専門は「コーポレート・コミュニケーション」「コーポレート・ガバナンス」「ファイナンシャル・レポーティング」。
- ◆ 現在の主な社会的活動として、環境省『ESGファイナンスアワードジャパン』審査委員長、一般社団法人『ESG情報開示研究会』代表理事を務める。
- ◆ 最近（2019 年以降）の主な編著・監訳・論考
  - ① 「医薬品企業の情報開示：効果的・効率的開示を目指して」（「国際医薬品情報」国際商業出版）2025 年
  - ② 「日本の企業情報開示の行方」（上）（下）（「企業会計」中央経済社）2024 年
  - ③ 『サステナビリティ情報開示ハンドブック』（日本経済出版）2023 年
  - ④ 『ESGカオスを超えて』（中央経済社）2022 年
  - ⑤ 「ESGカオスの中で企業は如何に情報開示を進めるべきか」（日経研月報）2021 年
  - ⑥ 『コーポレートガバナンス・コードの実践 再改訂版』（分担執筆、武井一浩他、日経 BP 社）2021 年
  - ⑦ 『社会を変えるインパクト投資』（監訳：ベロニカ・ビッチ他著、同文館出版）2021 年
  - ⑧ 『バックキャスト思考とSDGs／ESG投資』（編著、同文館出版）2019 年

○ ジー・アイアール・コーポレーション株式会社 概要

- ◆ 1980 年 2 月設立。40 年以上のIR支援の知見と経験を発揮し、統合報告書の『実装』に不可欠な、きめ細かなお客さまサポートを社内一貫制作体制で実現。
- ◆ 冊子・Webの制作工程すべてを社内で行う一貫制作体制を活かし、お客さまのリモートワークをIRCがハブとなり、完全サポート。
- ◆ とくにネイティブスタッフ（正社員）で構成されるライティング・エディティング セクションによる、質の高いコンテンツ作成に定評。
- ◆ 東証プライム上場企業を中心におよそ 450 社、制作したアニュアル レポートの数は 2,200 冊以上にのぼる豊富な実績。
- ◆ 直近では、「初めての統合報告書」制作支援で実績多数。
- ◆ 日経統合報告書アワード、WICIジャパン統合報告優良企業賞で受賞歴多数。

大和IRは、資本市場に幅広い専門分野を持つ大和証券グループのネットワークを活かし、上場企業・上場予定企業のIRを総合的にサポートしています。

【お問い合わせ先】大和インベスター・リレーションズ株式会社
大和インターネットIR表彰 事務局 堂下 （電話：03-5555-4111 E-mail：biz_dev@daiwa.co.jp ）